

おとしふみ

2026年

3月号

植物多様性センターは、東京都に自生する野生植物の一年の変化や、

植物の周りで暮らす動物たちの観察を楽しむ植物園です。植物の保全にも取り組んでいます。

東京都に残された貴重な植物や環境を次世代へと継承するため、以下の3つの取り組みを軸に活動しています。

<絶滅危惧植物の保護・増殖> <絶滅危惧植物の情報収集・発信> <植物多様性に関する教育・普及>

植物を支える、見えない土の世界

私たちが植物を見るとき、つい地上の葉や花、樹形に目が向きがちですが、その足元にはもうひとつの重要な世界があります。それが「土」です。土は単なる植物の土台ではなく、多様な生き物が暮らし、水や養分が行き交う、生きた環境です。

自然な土の中には、細菌や菌類などの微生物に加え、線虫やダニ、ミミズといった小さな生き物が数多く存在しています。これらは落ち葉や枯れた根を分解し、養分を再び植物が利用できる形へと変えていきます。土は養分を「ためる場所」というより、物質と生命が「循環する場所」と言えるでしょう。



ヤマフジ（葉）

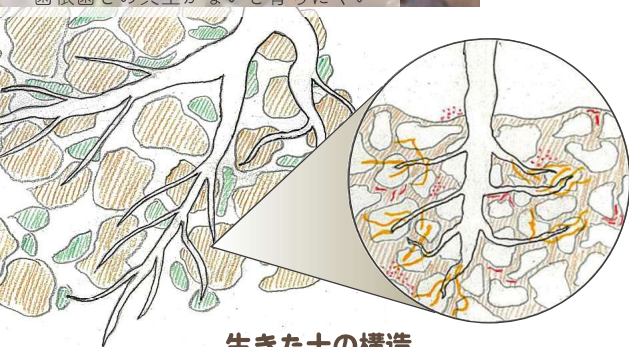
菌糸が落ち葉を分解していく途中



シュンラン

菌根菌との共生がないと育ちにくい

多くの植物は、根のまわりで微生物と密接な関係を結んでいます。代表的なのが菌根菌との共生で、菌類は土の中に菌糸を張り巡らせ、水分や養分を集めて植物に渡し、植物は光合成でつくった糖を菌類に提供します。また、マメ科やグミ科のように、根に根粒をつくり、共生細菌が空気中の窒素を利用する植物もあります。こうした関係は特別なものではなく、多くの野生植物にとってごく一般的な生き方です。



生きた土の構造

土の中では、団粒構造の隙間に水・空気・生き物が入り込み、植物の根と微生物・菌類が互いに関わりながら環境をつくっています。大きな隙間には空気が通り、小さな隙間には水が保持されることによって植物は呼吸します。

- 植物の根
- 団粒（土粒と有機物のかたまり）
- 微団粒（団粒内の細かい土粒の集まり）
- 有機物（分解途中）
- 菌根菌の菌糸
- 微生物



ナワシログミ（根）

丸い根粒の中には放線菌が共生する

土の構造や水の動きも、生き物の活動と深く結びついています。微生物や土壌動物の働きによって土には隙間が生まれ、水や空気が行き渡りやすくなり、根や微生物が活動できる環境が保たれます。

園内でも、落ち葉が積もった林床やコケが広がる湿った地面、踏み固められた場所など、足元の環境はさまざまです。その違いが土壌生物の多様性に影響し、育つ植物の姿を少しずつ選び分けていきます。植物を見るときは、ぜひ視線を少し下げ、土の匂いや柔らかさ、落ち葉の下に気配にも目を向けてみてください。



オオイヌノフグリ

踏まれて固くなった土でも育つ

植物多様性センター ひとこと日記

情報連絡会（本土部）を開催しました

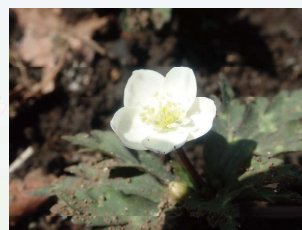
1月24日、植物保全団体の皆さまや有識者と情報や意見の交換を行う情報連絡会（本土部）を開催しました。情報連絡会は本土部と島嶼部に分けてそれぞれ年1回開催しています。



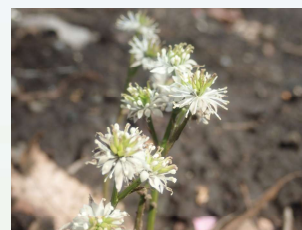
植物多様性センターの活動報告 保全関係者同士で情報交換

雑木林の小池2年目

昨年春に完成した雑木林ビオトープの小池を、1月にボランティアさんの力を借りてメンテナンスしました。今年はニリンソウやセリバオウレンなど春の植物が咲く前に小池の近くまで入れるようにする予定です。



ニリンソウ



セリバオウレン

久々登場！ツミ！

久々に園内で止まっているツミのメスの姿を見られました。ツミの場合メスの虹彩は黄色く、オスの虹彩は赤褐色になります。こうした猛禽類のような肉食動物が小動物を主食とするおかげで、小動物が主食とする果実や昆虫類の過度な減少が抑えられ、生態系のバランスが保たれます。



1月に確認したツミ♀（若鳥） 過去に確認したツミ♂

看板類、リニューアル中です！

利便性を向上できるよう、学習園・情報館の常設の看板やサインの一部を少しずつリニューアルしています。最近では情報館の周りが変わりました。見ごろの植物情報のマップも最新になったので、植物の位置がわかりやすくなったのではないかと思います！



情報館の入口



情報館のエントランス

お知らせ

ガイドツアー

無料 雨天中止

14:00～（約40分）
定員15名（先着、初心者優先）

職員が学習園の植物をご案内します。参加希望の方は、開始時間に情報館にお越しください。

※実施日はカレンダーをご参照ください。

コラム最新号

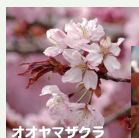
「また学習園で咲かせたい！
バックヤードの植物たち」

情報館下のQRコードからアクセスできます。

サクラの見ごろ

3月下旬～4月上旬

学習園には、正門からのメイン通路両脇に並ぶオオシマザクラ・オオヤマザクラをはじめ、30本以上のサクラの仲間が植栽されています。



オオヤマザクラ



ヤマザクラ



オオシマザクラ

3月のカレンダー

日	月	火	水	木	金	土
1	2	3	4	5	6	7
ガイド	休園日					
8	9	10	11	12	13	14
ガイド	休園日					
15	16	17	18	19	20	21
ガイド	休園日					
22	23	24	25	26	27	28
ガイド	休園日					
29	30	31				
ガイド	休園日					

※3月23日（月）は臨時開園です。

神代植物公園 植物多様性センター

開園時間 9:30～17:00

入園料 無料

休園日 月曜日（月曜日が祝日の場合は翌日）
年末年始（12月29日～1月1日）

電話 042-485-1210

所在地 〒182-0011

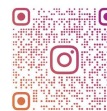
東京都調布市深大寺北町1-4-6



ホームページ



X (旧ツイッター)



Instagram



月刊コラム



デジタルマップ



神代植物公園
植物多様性センター



神代植物公園の
正門から徒歩2分！